

事業実績書

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

第3次陶地区地域づくり計画における“陶の将来像”である「みんなでつくろう笑顔でつながるふるさと陶」を目指し、地域づくりの現役世代と若者世代が一緒になり、持続性のある地域づくりを進めてまいります。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	帰りたくなるまち陶	
	事業名	人材発掘、人材育成	決算額 50,314円
②	視点	笑顔でつながるまち陶	
	事業名	三世代交流の推進	決算額 339,846円
③	視点	誰もがつながり支えあうまち陶	
	事業名	自主防災活動の推進	決算額 76,559円
④	視点	歳を重ねてもHappy 陶	
	事業名	健康管理・保険講座	決算額 19,602円
⑤	視点	誰もがつながり支えあうまち 陶	
	事業名	陶クリーン作戦	決算額 298,063円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①若者対象の地域づくり「夏フェス実行委員会」「若者座談会」等を開催し、若者の中心のグループが少しずつ稼働し始め次年度のベースが出来た。	◎
②参観日と併用して開催し、小学校、PTA、子供会、老人クラブなど三世代間の交流ができました。2年かけて、陶の事柄をおり込んだ「大判かるた」が完成。そのかるたの縮小版も作成した。	◎
③[ふれあいまつり]での炊き出し訓練、小学校での避難訓練、自治会長・福祉員との連絡網の見直し等で災害弱者への支援体制の確認できた。	◎
④陶東部ウォーキングコースを古銭に由来する地名や史跡、開拓にまつわる地区の歴史など、楽しく学びながら健康増進に一役。	◎
⑤小・中学生から高齢者まで、全集落、地区内23団体が参加して地区内の国道、県道周辺や通学路の環境美化活動を実施しました。また中央公園の清掃、除草も実施しました。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

- (1)「陶地区民運動会」は雨で中止となったものの、「陶ふれあいまつり」、「クリーン作戦」、「三世代交流」などが多くの参加者のもと開催され『みんなでつくり笑顔でつながるふるさと陶』へ積極的に取り組まれた。
- (2)新たな取り組みとして若者主体による「夏フェス」、地域団体と交流センターとの共催による「陶友遊カフェ」、高齢者主体による「百歳体操」などが開催され、更なる地域の輪づくりが進められた。

5 事業内容

(1)協議会運営

事業費	3,492,590円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務員:2名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務用品 (成果・評価) 事務局長不在期間を除けば、年間を通じて滞りなく事務局運営を行うことが出来ました。 (今後に向けて) より円滑な事務局運営を行うために、事務改善に努めます。

(2)地域振興

事業名	人材発掘、人材育成
事業費	50,314円
事業概要	(実施内容) 陶づくりセミナーにおいて、若者座談会 (実施時期) ①30年7月 ②31年2月 (参加人数) ①18人 ②22人 (成果) 若者同士の仲間づくりができ「夏フェス」を開催することができました。 (評価) 地域づくりに、若者の参加により陶の魅力の再発見を促す。 (今後に向けて) 今年度は2回開催できました。次年度も引き続きセミナーを計画します。

事業名	広報活動の推進
事業費	694,278円
事業概要	(実施内容) ①広報誌「まるごと陶」を毎月発行し、各戸に配布しました。 ②ケーブルTV「Ybook」に「まるごと陶」継続掲載。 ③フェイスブック「まるごと陶」にリアルタイムに情報発信を継続 (実施時期) ①、②、③共に平成30年4月から平成31年3月まで (参加人数) ①120人 (成果) ③Facebookで「いいね！」のフォロワー増えました。 (評価) ①全国公民館報コンクールで特別賞を受賞。 (今後に向けて) ①地域の情報源として、更に読み易く親しみある内容に努めます。

事業名	ふれあい行事の開催
事業費	404,343円
事業概要	(実施内容) ①「地区民運動会」②「夏フェス」③「陶ふれあいまつり」④友遊カフェを大々的に開催しました。 (実施時期) ①雨で中止 ②平成39年9月 ③11月 ④9月 1月 (参加人数) ①0人 ②約200人 ③1000人 ④59人 63人 (成果) ②地区内の若者の企画で初めて「夏フェス」を実行した。連合自治会デビュー ③自主防災会、文教部会との合同イベント(炊き出し訓練、ミュージック陶来楽夢)も出来ました。 ④若者のアイデアで交流Cと共催で実験的に実施し方向性がつかめたかなの感じです。 (評価) ②④若者アイデア素晴らしい③地区民の多数の参加で、ふれあいづくりは図られました。 (今後に向けて) 夏フェス、ふれあいまつりの内容を一層充実させて、ふれあい推進活動を高めます。

事業名	活動グループの育成
事業費	44,597円
事業概要	<p>(実施内容) 地区民中心の活動グループ(①ふれあい農園クラブ、②陶助人隊、③写友陶)を支援(趣味等が同じひとの集まりから少しづつ組織化する)</p> <p>(実施時期) ①②③通年</p> <p>(参加人数) ①会員18人 ②隊員21人 ③会員9人</p> <p>(成果) ①②③ともに活動を通じて、ふれあいを深めることが出来ました。</p> <p>(評価) ①野菜づくりを習得しながら、他の地域貢献活動の足掛かりに繋がるよう取り組んだ。 ②地区内の評判が少しづつ高まり奉仕の場を広げています。 ③地区内の四季の写真パネルを交流C内展示、「手帳」づくり、写真コンテストに協力頂く。</p> <p>(今後に向けて) ①グループの親睦を一層深めながら、地域づくり活動にも積極的に参加します。 ②隊員を増員し、地区団体の要望に応えられるよう組織を充実させます。 ③趣味を生かして親睦を深め、広報誌への写真提供、地域再発見を期待します。</p>

事業名	陶ブランドの立ち上げ
事業費	292,006円
事業概要	<p>(実施内容) ①遊休農地に酒米を植え地酒をつくる。「地酒の楽校」陶分校開校 ②マスコット(すえっきい)プリントポロシャツ作成</p> <p>(実施時期) ① 7月 ②7～9月</p> <p>(参加人数) ①22人 ② 5人</p> <p>(成果) ①おいしいお酒のつくり方、またお酒の味は酒米の質が大事であること教わる。 ②各種のカラーポロシャツを地元の皆さんに販売した。</p> <p>(評価) ①「遊休農地の利用」となると大規模と思うが、身の丈にあった方法があること学んだ。 ②陶にある素材で何かを生み出す若者のアイディアのすごさにおどろいた。</p> <p>(今後に向けて) ①②とも将来取り組みたい課題であったが、早期に第一歩が踏み出せたので、踏み出せたので、今後も引き継いで実施する。</p>

(3) 地域福祉

事業名	地域福祉講座の開催
事業費	12,511円
事業概要	<p>(実施内容) 「食事のバランスや生活習慣改善の重要性」について講座を開催しました。</p> <p>(実施時期) 平成30年9月</p> <p>(参加人数) 42人</p> <p>(成果) なんとなく過ごしている生活と食事、まだ間に合う生活改善、参考になる講座であった。</p> <p>(評価) 講座後のギターとキーボード演奏で和み、また講座を聴きに来たいという雰囲気が生まれた。</p> <p>(今後に向けて) 高齢者が気楽に参加できる講座を引続き検討します。</p>

事業名	子育て支援の推進
事業費	90,000円
事業概要	<p>(実施内容) ①放課後の学童保育と②未就園児子育ての両グループを支援しました。</p> <p>(実施時期) ①平成30年4月～平成31年3月 ②平成30年4月～平成3013月</p> <p>(参加人数) ①対象学童延べ75人、②対象親子延べ213人</p> <p>(成果) ①20回、児童を保育しました。②14回の活動を実施しました。</p> <p>(評価) ①参加人数の実態にあった活動をしている。②食推、母推等が協力して支援活動実施してる。</p> <p>(今後に向けて) ①生活体験として、調理と手芸を実施予定。 ②今後も未就園児、保護者さんの支援を継続します。</p>

事業名	三世代交流の推進
事業費	339,846円
事業概要	<p>(実施内容) 複数の団体と協力し交流イベント①陶小ふれあい広場②3世代餅つきを開催しました。</p> <p>(実施時期) 平成30年6月、平成31年1月</p> <p>(参加人数) ①244人、②109人</p> <p>(成果) 小学校、PTA、子ども会、老人クラブとの交流が深まり、成果物として「カルタ」が出来た。</p> <p>(評価) 参加しやすいよう参観日に併せたことで、幅広い世代の参加者がありました。</p> <p>(今後に向けて) ①今後も参観日に併せて実施します。②天候に左右されない内容で実施します。</p>

事業名	高齢者のサポート
事業費	149,481円
事業概要	<p>(実施内容) 陶老人クラブ連合会に協賛して、①西京大学(学習会)②福祉の集いを開催しました。</p> <p>(実施時期) ①8月19日 ②9月16日</p> <p>(参加人数) ①98人 ②42人</p> <p>(成果) ①「特殊詐欺に遭わない」と「新聞記者体験あれこれ講座」で、なるほどと感心した。 ②陶の中の史跡についてを学んだ後、久しぶりに昔の話で盛り上がった。</p> <p>(評価) ①②共、地元の方が講師なので、親しみやすく分かり易く、面白かったという声が多かった。</p> <p>(今後に向けて) 今後も、老人クラブと共同開催を継続します。</p>

事業名	健康管理活動・保健講座
事業費	19,602円
事業概要	<p>(実施内容) 陶地区ウォーキングの東部コースを利用し、ふるさとを再発見と体力づくりをしました。</p> <p>(実施時期) 11月</p> <p>(参加人数) 52人</p> <p>(成果) ウォーキングを通じて地区民のつながりがりは勿論、ふるさと再発見と体力増進にも寄与しました。</p> <p>(評価) 幅広い年齢層の参加で健康増進、地区民のふれあいに役立ちました。</p> <p>(今後に向けて) 毎年コース等を変え、地区内を一巡します。</p>

事業名	小規模福祉の輪づくり
事業費	18,587円
事業概要	<p>(実施内容) 健康長寿講座として「笑と健康」と、「食事と健康」をテーマに取り組みました。</p> <p>(実施時期) 8月、11月</p> <p>(参加人数) 45人、36人</p> <p>(成果) 日常の生活に「笑い」と「食事内容の改善」がいかに必要であるか教えられた。</p> <p>(評価) 山大生のヤングパワーでの「お笑い」は自分の孫が演じてるような気分で癒されたのでは。</p> <p>(今後に向けて) 高齢化が進行する中、各々グループの共催でつながる様実施する。</p>

(4)安心・安全

事業名	自主防災活動の推進
事業費	76,559円
事業概要	(実施内容) ①他地区の防災訓練を視察(防災担当委員) ②自主防災委員の集合訓練・小学校との合同避難訓練を実施した。 ③「陶ふれあいまつり」時に、焚きだし訓練と防災アンケートを行いました。 (実施時期) ① 8月 ②10月 ③11月 (参加人数) ① 9人 ②90人 ③500人 (成果) 500食分の豚汁を、防災委員のみで作った経験は非常時に活かせると確信した。 (評価) 小学区と合同で避難訓練を実施することは、生徒は勿論、大人の防災意識の高揚になる。 (今後に向けて) 少しずつ避難訓練内容を変えながら取り組みを継続します。

事業名	陶っこ見守り隊(子ども見守り活動)
事業費	27,000円
事業概要	(事業内容) 陶っこ協議会(青少協)を主体に、下校時の子供の見守り方法を、パトロールから毎週水曜日に定点での見守りに変更して実施しました。 (実施時期) 通年(夏休み、冬休み、春休みを除く) (参加人数) 460人 (成果) 地区内の多くの団体の協力が得られました。 (評価) 定点での見守り実施で、下校時の防犯と交通の安全が確保されました。 (今後に向けて) 児童の安全を守る為、今後も活動を継続します。

事業名	交通マナーアップ in SUE(交通安全、交通マナーアップ)
事業費	248,778円
事業概要	(事業内容) 小中新入生の交通安全を図るため警笛やベストを贈り、四季の交通安全期間中に啓発用の幟旗掲揚と、広報活動や立哨活動をしました。また、カーブミラー清掃も実施 (実施時期) 4月、7月、9月、12～1月 (参加人数) 60人 (成果) 交通安全の意識が高まり交通安全が図られました。 (評価) 用具の贈呈、立哨活動、広報活動により安全啓発を充実させることが出来ました。 (今後に向けて) 引続き交通安全の啓発活動を充実させます。

事業名	反射鏡設置・修復(道路環境の整備)
事業費	0
事業概要	(事業内容) 反射鏡所設置、故障修理 (実施時期) (参加人数) (成果) 今年度の反射鏡取付、故障修理なし (評価) (今後に向けて) 地区内の必要箇所を調査して、今後も道路環境の改善に努めます。

(5)環境づくり

事業名	土木工事:法定外公共物
事業費	3,357,000円(3,357,000円のうちソフト事業分から流用78,000円)
事業概要	(実施内容) 法定外公共物の整備、里道の舗装工事(4路線)、農水路の整備(1件) (実施時期) 平成30年10月～12月 (参加人数) 業者に委託 (成果) 里道の舗装、農水路の整備が出来ました。 (評価) 里道の舗装と農水路の整備が行われ関係者に喜ばれています。 (今後に向けて) 引続き里道の舗装整備、農水路等の整備に努めます。

事業名	陶クリーン作戦(道路環境美化)
事業費	298,063円
事業概要	(事業内容) 地区内の国道、県道周辺や通学路の環境美化、中央公園の清掃を実施しました。 (実施時期) 7月、11月、2月 9月(中央公園) (参加人数) 503人 (成果) 小・中学生から高齢者まで、全集落、地区内23団体が参加する陶の一大行事となりました。 (評価) 住民の参加意識も高く、環境美化が向上しました。 (今後に向けて) 作業工程、方法の見直しをしながら、環境美化に努めます

(6)地域個性創出

事業名	再発見「素晴らしい陶」
事業費	201,588円
事業概要	(実施内容) 写真コンテストを実施し、上位入賞者の写真を利用して「手帳」を作成しました。 (実施時期) 11月(ふれあいまつり)に展示 (参加人数) 15名(30点応募あり) (成果) 地域の再発見、再認識につながっています。 (評価) 鑑賞された方、「写真掲載手帳」も好評でした。 (今後に向けて) 引続き四季写真コンテストを行います。

事業名	陶ふるさと大学
事業費	22,804円
事業概要	(実施内容) ① 鑄銭司遺跡発掘体験 ② 陶司家跡地中探査体験 ③ 鑄銭司遺跡現地講座 (実施時期) ①9月 ②1月 ③2月 (参加人数) ①7名 ②11名 ③100名 (成果) ふるさと再発見、再評価につながる講座に参加できました。 (評価) 遺跡調査が始まり、「鑄損」や「木簡」が発掘され関連講座の関心が高まっています。 (今後に向けて) ふるさと再発見に向けた広報活動を強化し、参加者増員に取り組みます。

事業名	地元文化育成
事業費	73,340円
事業概要	(実施内容) 地元の音楽愛好家を軸とした手作り音楽祭を陶ふれあいまつりと共催しました。 (実施時期) 11月 (参加人数) 1000名 (成果) 陶ふれあいまつりのプログラムの中に組み込みメインイベントとなりました。 (評価) 音楽演奏のプログラムを他のプログラムの合間に組み込んだことで大変盛り上がった。 (今後に向けて) ふれあいまつりと共催は今後も継続するつもりである。

事業名	文化財保護活動
事業費	0円
事業概要	(実施内容) ①陶窯跡周辺の清掃、整備 (実施時期) ①11月 (参加人数) ①7名 (成果) 毎年実施することにより、以前に比べ草木の伸張が進まなくなってきました。 (評価) クリーン作戦と同時作業としたことで、大勢の方に文化財保護活動が知られるようになった。 (今後に向けて) もっと地区内外に陶のお宝を発信することが、これからの重点になると思われます。

事業名	コミュニティ・スクールの支援
事業費	50,000円
事業概要	(実施内容) 陶小学校コミュニティ・スクール活動を支援しました。 (実施時期) 随時 (参加人数) (成果) 地域の人材が教育活動、課外活動に講師役として携わった。 (評価) 地域の連携もできつつあります。 (今後に向けて) 陶小学校のコミュニティ・スクール活動の支援を続けます。

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。